



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社ブロードリーフ 上場取引所 東
 コード番号 3673 <http://www.broadleaf.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大山 堅司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 羽生 武史 TEL 03 (5781) 3100
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	13,733	8.7	2,934	38.1	2,901	42.7	1,533	56.1
25年12月期第3四半期	12,629	12.9	2,124	87.1	2,033	89.7	982	190.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	58.78	58.68
25年12月期第3四半期	40.14	38.91

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	26,139	20,624	78.8
25年12月期	27,044	19,961	73.8

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 20,595百万円 25年12月期 19,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年12月期	—	10.00	—		
26年12月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	5.4	4,000	7.0	3,950	8.1	2,100	9.7	80.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期3Q	26,220,700株	25年12月期	26,138,700株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	97,661株	25年12月期	32株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期3Q	26,093,271株	25年12月期3Q	24,473,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年1月から平成26年9月)におけるわが国経済は、消費税増税による消費低迷や原料・燃料価格高騰などによる景気下振れリスクは存在したものの、政府の経済対策や日銀の金融緩和などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。また、当社顧客が属する自動車アフターマーケット(※1)業界においても、前述のマクロ経済動向を背景に、堅調に推移しました。

このような事業環境の中、当社は「産業プラットフォーム(※2)」上で顧客事業を支援するITサービスの拡大に取り組むとともに、平成26年1月よりスタートした3カ年の中期経営計画において、「豊かなカーライフを支援する総合サービス業への進化」を経営方針に掲げ、中長期的な成長へ向けた取り組みを実施しています。

当第3四半期累計期間では、システム販売分野においては、アプリケーションのライセンス更新需要を取込み、前年同期比増収となりました。また、ネットワーク型ライセンス比率の上昇に伴い、ネットワークサービス分野であるデータベース提供サービス等のストック型の売上も順調に拡大しました。

中長期的な成長の施策として、カーオーナーに対する提案力、サービス向上のツールとなる「CarpodTab(カーポッドタブ)」、「BLパーツオーダーシステム」のマーケットへの浸透を図るとともに、平成26年3月には「国際オートアフターマーケットEXPO 2014」に出展するなど、「街のカーウンセラー(※3)」のサービスブランドの浸透に取り組みました。「街のカーウンセラー」の推進においては、全国のエリア毎に、認定店舗の運営管理・サービスの品質の保持・向上をサポートする専任のスタッフを配置し、「街のカーウンセラー」の認定店舗拡大に取り組んでいます。さらに、中期的な新サービスの創出へ向けて、「新世代BLクラウド」の設計に着手しています。また、「街のカーウンセラー」店舗の顧客との接点強化を目的に、スマートフォンアプリ「カーウンセラーパス」のリリースを準備しております。これらの取り組みにより、自動車アフターマーケットの活性化を図り、ネットワークサービス分野での収益拡大を目指します。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高137億33百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益29億34百万円(前年同期比38.1%増)、経常利益29億1百万円(前年同期比42.7%増)、四半期純利益15億33百万円(前年同期比56.1%増)となりました。

なお、マネジメント・バイアウト(MBO)の実施に伴い発生したのれん償却費を5億1百万円計上しており、これを控除した、のれん償却前営業利益は34億36百万円(前年同期比30.8%増)であり、のれん償却前四半期純利益は20億35百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

当社はITサービス事業の単一セグメントであります。売上分野別の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	前年同期比(増減率)
システム販売	9,956	9,170	8.6%
システムサポート	969	958	1.1%
ネットワークサービス	2,807	2,500	12.3%
合 計	13,733	12,629	8.7%

※1「自動車アフターマーケット」とは、自動車が販売されてから発生する、自動車のメンテナンスや用品取り付けなどの二次市場を指します。

※2「産業プラットフォーム」とは、特定産業のビジネスにおいて顧客が企画立案、コミュニケーション、意思決定、代金決済等のビジネスシーンにおいて利用されるビジネス上の情報基盤(プラットフォーム)を指します。

※3「街のカーウンセラー」とは、自動車整備工場への集客を支援することを目的として、平成25年秋に当社が立ち上げたサービスブランドです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて9億4百万円減少し、261億39百万円となりました。これは主に、のれんの償却が進んだ無形固定資産が5億65百万円減少し、売掛金が2億15百万円減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べて15億68百万円減少し、55億14百万円となりました。これは主に、返済により長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が13億52百万円減少したことによるものです。

純資産額は、前事業年度末に比べて6億63百万円増加し、206億24百万円となりました。これは主に、四半期純利益15億33百万円の計上、剰余金の配当7億84百万円及び自己株式1億49百万円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降、中期経営計画の着実なる進展に向けた投資を計画しており、「街のカーウンセラー」のプロモーション投資、新世代B Lクラウドへの投資、新サービス創出に向けた人員増強も積極的に行う予定です。以上の理由により、現時点では前回発表の業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、建物(建物附属設備を除く)は定額法)を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、平成26年1月よりスタートとする中期経営計画の策定を契機に保有資産を見直した結果、長期的かつ安定的に稼働する資産が大部分を占めており、また、中期経営計画において契約期間にわたり均等に収益が計上されるサーバー提供サービス等のネットワークサービス分野の売上高の拡大を計画していることや昨今の会計処理の国際的調和を総合的に勘案し、減価償却費の期間配分を平準化できる定額法に変更することが事業の実態をより適切に反映する合理的な方法であると判断したことによるものです。

この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、平成26年2月13日開催の取締役会において、当社グループ社員(以下、「社員」といいます。)に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

本プランは、「ブロードリーフ社員持株会」(以下「持株会」といいます。)に加入するすべての社員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「ブロードリーフ社員持株会専用信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、今後5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、従持信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、保証契約に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

当該信託に関する会計処理については、第1四半期会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を早期適用し、総額法を適用しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期会計期間末149,534千円、97,600株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第3四半期会計期間末 147,890千円

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,229,501	9,142,257
受取手形	70,950	45,588
売掛金	2,804,176	2,589,073
商品	104,680	131,036
仕掛品	13,398	—
貯蔵品	7,152	8,257
前払費用	182,317	192,665
繰延税金資産	362,859	251,104
未収入金	1,248,404	1,285,968
その他	19,448	21,607
貸倒引当金	△5,087	△16,083
流動資産合計	14,037,802	13,651,475
固定資産		
有形固定資産	481,443	442,584
無形固定資産		
のれん	10,699,735	10,198,185
ソフトウェア	1,091,392	1,027,598
無形固定資産合計	11,791,127	11,225,784
投資その他の資産		
投資有価証券	139,009	229,761
関係会社出資金	122,500	140,000
従業員に対する長期貸付金	1,017	326
破産更生債権等	12,966	14,409
長期前払費用	61,992	41,118
敷金及び保証金	403,817	402,703
その他	5,550	5,550
貸倒引当金	△12,966	△14,409
投資その他の資産合計	733,887	819,461
固定資産合計	13,006,458	12,487,830
資産合計	27,044,260	26,139,305

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	13,225	—
買掛金	339,830	330,054
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	750,000
リース債務	35,459	28,885
未払金	2,173,018	2,278,388
未払費用	391,282	253,280
未払法人税等	892,207	887,977
未払消費税等	159,658	264,419
前受金	39,056	30,288
預り金	72,430	51,591
賞与引当金	452,936	260,662
損害補償損失引当金	33,418	34,386
その他	31,201	31,201
流動負債合計	6,133,724	5,201,137
固定負債		
長期借入金	750,000	147,890
リース債務	72,655	52,437
資産除去債務	110,613	111,524
繰延税金負債	15,688	1,480
固定負債合計	948,957	313,332
負債合計	7,082,682	5,514,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,127,155	7,147,655
資本剰余金	7,127,155	7,147,655
利益剰余金	5,712,215	6,461,312
自己株式	△70	△149,662
株主資本合計	19,966,454	20,606,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,875	△11,735
評価・換算差額等合計	△4,875	△11,735
新株予約権	—	29,612
純資産合計	19,961,578	20,624,836
負債純資産合計	27,044,260	26,139,305

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,629,737	13,733,334
売上原価	3,388,457	3,488,274
売上総利益	9,241,280	10,245,060
販売費及び一般管理費	7,116,530	7,310,375
営業利益	2,124,749	2,934,685
営業外収益		
受取利息	1,029	1,923
受取配当金	4,455	—
受取補償金	3,154	2,683
その他	6,714	4,763
営業外収益合計	15,354	9,370
営業外費用		
支払利息	21,797	11,074
損害補償損失引当金繰入額	36,203	24,794
株式公開費用	43,658	—
その他	5,195	6,257
営業外費用合計	106,855	42,126
経常利益	2,033,248	2,901,929
特別損失		
固定資産除却損	8,000	3,146
特別損失合計	8,000	3,146
税引前四半期純利益	2,025,248	2,898,782
法人税、住民税及び事業税	237,082	1,267,419
法人税等調整額	805,811	97,547
法人税等合計	1,042,893	1,364,966
四半期純利益	982,354	1,533,816

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

当期実績及び業績予想

	平成26年12月期				
	第3四半期累計 (百万円)	売上構成比 (%)	通期業績予想 進捗率 (%)	前年同四半期 増減率 (%)	通期業績予想 (百万円)
売上高	13,733	100.0%	72.3%	8.7%	19,000
システム販売	9,956	72.5%	72.7%	8.6%	13,700
システムサポート	969	7.1%	74.6%	1.1%	1,300
ネットワークサービス	2,807	20.4%	70.2%	12.3%	4,000
営業利益	2,934	21.4%	73.4%	38.1%	4,000
四半期(当期)純利益	1,533	11.2%	73.0%	56.1%	2,100

前期実績

	平成25年12月期				
	第3四半期累計 (百万円)	売上構成比 (%)	通期業績 進捗率 (%)	前年同四半期 増減率 (%)	通期業績 (百万円)
売上高	12,629	100.0%	70.1%	12.9%	18,024
システム販売	9,170	72.6%	68.6%	14.4%	13,357
システムサポート	958	7.6%	74.7%	0.8%	1,284
ネットワークサービス	2,500	19.8%	73.9%	12.4%	3,382
営業利益	2,124	16.8%	56.8%	87.1%	3,740
四半期(当期)純利益	982	7.8%	51.3%	190.8%	1,914